

2026年3月5日

各 位

株式会社 西京銀行  
取締役頭取 松岡 健

株式会社フォーティーンさまによる「SDGs 宣言」策定について

西京銀行は、持続可能な社会の実現に向け、地元企業さまの SDGs への取組みをサポートする「さいきょう SDGs コンサルティングサービス」の提供を行っています。

このたび、当サービスを通じて、株式会社フォーティーン（本社：山口県宇部市 代表取締役 埴坂 仁）さまが SDGs 宣言を策定されましたので、お知らせします。

企業概要

会 社 名	株式会社フォーティーン
所 在 地	山口県宇部市黒石北3丁目2番33号
代 表 者	埴坂 仁
SDGs への取組み	「一人一人、お互いが助け合い協力し合うことこそが仲間・会社」という経営理念のもと、建設業を中心に、品質と安全性にこだわった仕事で地域の暮らしに笑顔と価値を提供しています。 リサイクル材や環境認証材を使用し資源の循環に取り組むほか、ワークライフバランスを重視した制度により多様な人材が活躍できる職場環境の整備に取り組めます。また、地域イベントや教育・文化活動への協賛を通じて、地元の活性化にも貢献しています。
U R L	<a href="https://14fourteen.jp">https://14fourteen.jp</a>

※ 株式会社フォーティーンさまの SDGs 宣言については、別紙をご参照ください。

西京銀行は、引続き地元の課題解決ニーズに幅広く、きめ細かくお応えし、「地域の皆さまのお役に立つ銀行」を目指してまいります。

◆本件に関するお問い合わせ

西京銀行 ビジネスコンサルティング部（担当：木林）

TEL：070-7575-2294



# 株式会社フォーティーン SDGs宣言

当社は、「一人一人、お互いが助け合い協力し合うことこそが仲間・会社」という経営理念のもと、国連において採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、事業活動を通じて、地域の課題解決と持続的な成長に貢献しています。私たちは、利益だけを目的とせず、人と人とのつながりを大切に、地域とともに成長し続ける企業でありたいと考えています。一人ひとりの行動が、未来をつくる。その責任と誇りを胸に、これからも挑戦を続けてまいります。

2026年3月5日  
株式会社フォーティーン  
代表取締役 埜坂 仁

## 当社のSDGsへの貢献

### 人と想いを、未来へつなぐ

「お客様の想いや希望を形にすること」を目標に、エクステリア、不動産、飲食など暮らしを豊かにする様々な事業を展開しています。これまでに培った技術やノウハウを活かして新しいことに挑戦し続け、お客様に選ばれるサービスを提供してまいります。

#### 【主な取り組み】

- 設計から施工まで一貫サポート
- アフターメンテナンスの無期限保証
- 清掃状況の毎日報告による美化意識の徹底



### 環境への配慮

廃棄物の削減や省エネを推進するために、外構工事ではリサイクル材を積極的に使用し、飲食部門では食品ロスの削減に取り組むなど、事業分野ごとに環境に配慮した事業運営を心がけています。

#### 【主な取り組み】

- 外構工事におけるリサイクル材・環境認証材の使用
- 資材の最適発注による余剰材料削減
- 本社、店舗のLED化及びペーパーレス化の推進
- 飲食事業での食材の厳格管理による食品ロス削減



### 働きやすい環境

地元人財に加え、外国人を含む多様な人財を積極的に採用します。また、有給休暇や介護・育児休暇の取得を促進し、仕事と家庭を両立しやすい職場環境づくりに取り組むとともに、資格取得支援制度を整備し、従業員一人ひとりの成長を後押しします。

#### 【主な取り組み】

- 資格取得支援制度（奨励金・費用補助）
- 有給休暇、介護・育児休暇の取得促進
- 外国人従業員の日本語能力向上支援



### 地域貢献・社会貢献

地元で開催される教育・文化・スポーツ活動への協賛を通じて地域の活性化に貢献します。また、献血や清掃活動などのボランティア活動を継続し、地域社会の一員として、人々とともに歩む企業を目指しています。

#### 【主な取り組み】

- 宇部ボクシング&フィットネススクールへの協賛
- 小中学校で開催される「ドッチビー」への協賛
- 地域清掃活動へのボランティア参加、主催



#### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標（SDGs）とは、すべての人々にとってよりよい、より持続可能な未来を築くための青写真です。貧困や不平等、気候変動、環境劣化、繁栄、平和と公正など、私たちが直面するグローバルな諸課題の解決を目指します。SDGsの目標は相互に関連しています。誰一人置き去りにしないために、2030年までに各目標・ターゲットを達成することが重要です。